

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ニッセイロジスティクスセンター大阪	階数	地上5F
建設地	大阪府交野市星田北八丁目	構造	SRC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年7月 予定	評価の実施日	2021年10月28日
敷地面積	42,516 m ²	作成者	松崎 仁
建築面積	21,411 m ²	確認日	2021年10月29日
延床面積	90,289 m ²	確認者	美坂 浩二



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値 ② 建築物の取組み ③ 上記+②以外の ④ 上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR のスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
最適な車輛アクセス計画や緑化計画、建物ヴォリュームの検討により、周辺住環境に対して配慮した計画とする。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
金属断熱サンドイッチパネルの採用など、建物の環境性能の向上により、夏季の温度上昇、冬季の放熱を抑制し生活環境の向上を図る。	・執務室の天井高さを十分に確保し、オフィス空間としての快適性に配慮している。 ・休憩室やリフレッシュコーナーを配備する事により、アメニティの充実を図る。	・接道緑化や提供公園を計画することで、十分な植栽を確保し敷地内温熱環境の向上にも配慮している。 ・排熱を考慮し、室外機は屋上もしくは設備バルコニーに設置する。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・外壁に金属断熱サンドイッチパネルを使用し、断熱性能を高めている。	・節水機器の採用やリサイクル材等の使用により省資源に配慮している。	・敷地内に十分な台数の駐車場を確保し、地域への交通負荷抑制を図っている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-変-0020

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	ニッセイロジスティクスセンター大阪交野 新築工事						
		建設地	大阪府交野市星田北八丁目						
		用途/区分	工場						
【評価結果】		CASBEE 総合評価					A		
①	CO2削減					5			
②	みどり・ヒート アイランド対策					3			
③	建物の断熱性					評価対象外			
④	エネルギー削減					5			
⑤	自然エネルギー直接利用					—			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告						報告しない			
【評価項目】									
項目		評価内容				スコア	評価		
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.8	5		
②	みどり・ヒートアイランド対策								
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0	3		
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0			
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				2.7			
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					-		
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5		
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない		
その他									
		技術の名称			考慮事項				
先進的技術の導入									
特に配慮した事項									